

授業計画(シラバス)

科目名	就職実務 I	指導担当者名	丸山 悦代
実務経験			実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	28時間	週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動を始めるにあたって、心構えや方法、履歴書の作成方法を学ぶ。		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する		
使用教材	Success		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	本校でのルール、大学、高校、専門学生の違い
	2	就職活動の心構え身だしなみ	働く意義と社会人として求められる資質
	3	就職活動での身だしなみ	身だしなみ
	4	就職活動の流れ	敬語、来客対応
	5	自分自身を知る	自己分析①
	6	自分自身を知る	自己分析②
	7	職業を知る	職種と業種の違い
	8	情報収集、企業研究、資料請求 1	ビジネスマナー ロールプレイング①
	9	情報収集、企業研究、資料請求 2	ビジネスマナー ロールプレイング②
	10	情報収集、企業研究、資料請求 3	企業見学 ル・プロジェ
	11	求人票の見方 インターンシップとは	業界研究
	12	期末試験(一般常識など)	期末試験
	13	試験振り返り	解答解説
	14	まとめ	レポート制作
	15	期末試験フィードバック	
	16	期末試験フィードバック	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	就職実務 I	指導担当者名	丸山 悦代
実務経験			実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	28時間	週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動を始めるにあたって、心構えや方法、履歴書の作成方法を学ぶ。		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する		
使用教材	Success		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	就職試験のマナー1	入退室
	2	就職試験のマナー2	電話のかけ方、受け方
	3	就職試験のマナー3	面接試験対策1
	4	筆記試験対策1	面接試験対策2
	5	筆記試験対策2	筆記試験について、種類や方法を知る
	6	筆記試験対策3	作文、小論文の書き方
	7	書類作成	履歴書、エントリーシート等の作成時間①
	8	書類作成	履歴書、エントリーシート等の作成時間②
	9	面接練習	入退室チェックなど
	10	面接練習	一般常識
	11	面接練習	新聞を読む
	12	面接練習	個別指導
	13	面接練習	個別指導
	14	まとめ	レポート制作
	15	期末試験フィードバック	
	16	期末試験フィードバック	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	イラストレーション実習 I		指導担当者名	岡部 美保	
実務経験	デザイン会社・広告代理店、デザイン制作業務に6年従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	イラストレーション科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	いろいろなデザインで、手作りのものづくりを研究・工夫し、制作する。				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 指定されたページ数にストーリーを含めラフ作成提出する。／本描き作成／上製本完成まで。 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	ものづくり、Illustrator／ photo shop				
授業外学習の方法	使用画材、用具の準備				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	マスキングやカラーインクを使用してイラスト四季を表現	画材の使い方／課題1 エスキース		
	2	マスキングやカラーインクを使用してイラスト四季を表現	画材の使い方／課題1 制作		
	3	マスキングやカラーインクを使用してイラスト四季を表現	画材の使い方／課題1 制作		
	4	オリジナルデザインお祝い袋制作	課題2説明、エスキース		
	5	オリジナルデザインお祝い袋制作	課題2水引練習		
	6	オリジナルデザインお祝い袋制作	課題2お祝い袋本制作		
	7	オリジナルデザインお祝い袋制作	課題2お祝い袋本制作		
	8	ポートフォリオ用作品撮影	発表、作品撮影		
	9	キャラクター表情集／6パターン制作／水筆の使い方	喜怒哀楽他2パターンアイディアスケッチ		
	10	キャラクター表情集／6パターン制作	喜怒哀楽他2パターン下描き、ペン入れ		
	11	キャラクター表情集／6パターン制作	喜怒哀楽他2パターン着彩		
	12	キャラクター表情集／6パターン制作	喜怒哀楽他2パターン着彩		
	13	作品発表	発表		
	14	まとめ	レポート作成		
	15	期末試験フィードバック			
	16	期末試験フィードバック			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	イラストレーション実習 I		指導担当者名	岡部 美保	
実務経験	デザイン会社・広告代理店、デザイン制作業務に6年従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	イラストレーション科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	いろいろなデザインで、手作りのものづくりを研究・工夫し、制作する。				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 指定されたページ数にストーリーを含めラフ作成提出する。／本描き作成／上製本完成まで。 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	ものづくり、Illustrator／ photo shop				
授業外学習の方法	使用画材、用具の準備				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	ハロウィン・ショーウインドウディスプレイ	課題3、役割分担		
	2	ハロウィン・ショーウインドウディスプレイ	課題3、アイデア出し		
	3	ハロウィン・ショーウインドウディスプレイ／撮影	課題3、制作、発表		
	4	パッケージデザイン制作	課題4、クリスマス・お正月向けデザインを描く		
	5	パッケージデザイン制作／クリスマス・お正月向け	課題4、メッセージカード制作		
	6	パッケージデザイン制作／クリスマス・お正月向け完成提出	課題4、メッセージカード制作		
	7	パッケージデザイン制作／クリスマス・お正月向け完成提出	課題4、発表、提出		
	8	クリスマス・ショーウインドウディスプレイ	課題5、役割分担		
	9	クリスマス・ショーウインドウディスプレイ	課題5、発表、撮影		
	10	テーマ別制作	課題5、ゼミ形式でイラストを制作、エスキース		
	11	テーマ別制作	課題5、ゼミ形式でイラストを制作、カンブ		
	12	テーマ別制作	課題5、ゼミ形式でイラストを制作、本制作		
	13	テーマ別制作	課題5、ゼミ形式でイラストを制作、本制作		
	14	まとめ	発表、レポート作成		
	15	期末試験フィードバック			
	16	期末試験フィードバック			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	絵本・挿絵制作実習		指導担当者名	岡部 美保	
実務経験	デザイン会社・広告代理店、デザイン制作業務に6年従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	イラストレーション科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	絵本のお話の作り方や色々な画材によるアナログイラスト作成と構成レイアウトデザインを学ぶ。イラストスキャニング、文字レイアウトのみデジタルソフトを使用作成する。手作りでオリジナル上製本を完成させる。				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 指定されたページ数にストーリーを含めラフ作成提出する。／本描き作成／上製本完成まで。 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	絵本のしくみ Illustrator / photo shop				
授業外学習の方法	絵本を数冊読んでおく				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	絵本のしくみ	ストーリーをまとめる方法や起承転結について		
	2	ストーリーをまとめる	いろいろな絵本を観察		
	3	ストーリーをまとめる	ラフ作成／ストーリーと構図確認		
	4	ラフ作成	ラフ作成提出		
	5	ラフ作成	ラフ作成提出と添削		
	6	表紙制作	仕上がりサイズ原稿の用紙選定と枠線入れ		
	7	扉絵制作	仕上がりサイズにて下描き作成		
	8	本描き作成	着色		
	9	本描き作成	着色		
	10	テスト期間／本描き作成	指定された枚数本描き提出		
	11	テスト振り返り／本描き作成	着色、直し		
	12	本描き作成	仕上がりサイズにて本描き作成、直し		
	13	本描き作成	仕上がりサイズにて本描き作成、直し		
	14	まとめ	レポート作成		
	15	期末試験フィードバック			
	16	期末試験フィードバック			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	絵本・挿絵制作実習		指導担当者名	岡部 美保	
実務経験	デザイン会社・広告代理店、デザイン制作業務に6年従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	イラストレーション科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	絵本のお話の作り方や色々な画材によるアナログイラスト作成と構成レイアウトデザインを学ぶ。イラストスキャニング、文字レイアウトのみデジタルソフトを使用作成する。手作りでオリジナル上製本を完成させる。				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 指定されたページ数にストーリーを含めラフ作成提出する。／本描き作成／上製本完成まで。 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	絵本のしくみ Illustrator / photo shop				
授業外学習の方法	絵本を数冊読んでおく				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	本描き作成	仕上がりサイズにて本描き作成／添削		
	2	本描き仕上げ	仕上がりサイズにて本描き完成／添削		
	3	スキャニング／レイアウト	イラストレーターにて入稿用データとしてレイアウト		
	4	スキャニング／レイアウト	イラストレーターにて入稿用データとしてレイアウト		
	5	出力／断裁	出力後断裁		
	6	上製本作成	製本説明、作成		
	7	上製本作成	製本作成		
	8	テスト期間／上製本作成	製本作成		
	9	作品鑑賞とまとめ	完成作品鑑賞感想まとめ		
	10	絵本製作1	オリジナル絵本制作、ラフ		
	11	絵本製作2	絵本製作時間		
	12	絵本製作3	絵本製作時間、完成		
	13	期末試験	発表		
	14	まとめ	レポート作成		
	15	期末試験フィードバック			
	16	期末試験フィードバック			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	デッサン	指導担当者名	関根 慎一郎
実務経験	デッサン教室レモン美術研究所代表、10年以上従事、現在も継続		実務経験： 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科1年
授業方法	講義：	演習：	実習： 実技：○
時間数	84時間	週時間数	3時間
学習到達目標	基礎的な描写力の向上と観察力を重点的に養う。更に作品に対する向き合い方(集中力、執着心、リテイク、フィードバック)を学ばせ、今後の作品制作に活かせる姿勢を身に付けさせる。□ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
評価方法 評価基準	・出席・授業態度 ・提出課題等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 出題する課題における制作物(作品)を講師が審査する。 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する		
使用教材	スケッチブック、画用紙、鉛筆・モチーフ等、デッサンの実習に必要と思われるもの全般		
授業外学習の方法	鉛筆を削っておく		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	オリエンテーション・手のデッサン	各生徒の自己紹介や講師紹介、授業の一年の流れ等の説明。画材準備後、自らの手を描いてみる。
	2	幾何石膏体	モチーフを計測する。円柱や立方体等の石膏立体を描く。
	3	風景スケッチ	学校エリア内を散策し、スケッチする。
	4	静物①(マグカップ)	各自、マグカップを持参。単純な日用品を描く。
	5	静物②(野菜or果物)	各自、野菜か果物を1個持参。自然物を描く。
	6	静物③(お椀とお皿)	各自、円の構造体の日用品を描く。
	7	静物④(箱)	各自、500mlの紙パックジュースを持参。ロゴ入りで描く。
	8	静物⑤(チョコレート)	各自、チョコレートを持参。ケースごと、ロゴ入りで描く。
	9	期末考査対象課題：静物(モチーフ×3)①	3個の組モチーフを描く。異素材の描き分け、構図の決定、観察力などをみる。3ターム連続課題
	10	期末考査対象課題：静物(モチーフ×3)②	3個の組モチーフを描く。異素材の描き分け、構図の決定、観察力などをみる。3ターム連続課題
	11	期末考査対象課題：静物(モチーフ×3)③	3個の組モチーフを描く。異素材の描き分け、構図の決定、観察力などをみる。3ターム連続課題
	12	カラーデッサン	自由モチーフによるデッサン
	13	カラーデッサン	自由モチーフによるデッサン
	14	まとめ	レポート作成
	15	期末試験フィードバック	
	16	期末試験フィードバック	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	デッサン	指導担当者名	関根 慎一郎
実務経験	デッサン教室レモン美術研究所代表、10年以上従事、現在も継続		実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科1年
授業方法	講義:	演習:	実習: 実技:○
時間数	84時間	週時間数	3時間
学習到達目標	基礎的な描写力の向上と観察力を重点的に養う。更に作品に対する向き合い方(集中力、執着心、リテイク、フィードバック)を学ばせ、今後の作品制作に活かせる姿勢を身に付けさせる。□ □ □		
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 出題する課題における制作物(作品)を講師が審査する。 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する		
使用教材	スケッチブック、画用紙、鉛筆・モチーフ等、デッサンの実習に必要と思われるもの全般		
授業外学習の方法	鉛筆を削っておく		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	スプーンを持った手	前期デッサンの復習と振り返りをする。
	2	人物クロッキー①	クロッキーによって人体のプロポーションやポーズの確認をする。生徒が交代でモデルをする。
	3	人物クロッキー②	クロッキーによって人体のプロポーションやポーズの確認をする。生徒が交代でモデルをする。
	4	期末考査対象課題: 自画像①	喜・怒・哀・楽の中から表情をひとつ選び、自画像を描く。各自、鏡を持参する。4週連続の課題。
	5	期末考査対象課題: 自画像②	喜・怒・哀・楽の中から表情をひとつ選び、自画像を描く。各自、鏡を持参する。4週連続の課題。
	6	期末考査対象課題: 自画像③	喜・怒・哀・楽の中から表情をひとつ選び、自画像を描く。各自、鏡を持参する。4週連続の課題。
	7	期末考査対象課題: 自画像④	喜・怒・哀・楽の中から表情をひとつ選び、自画像を描く。各自、鏡を持参する。4週連続の課題。
	8	発表	作品発表
	9	期末考査対象課題: 卓上静物①	折り畳みの鏡と手袋を各自持参し、好きなように構成しデッサンする。2週連続の課題。
	10	期末考査対象課題: 卓上静物①	折り畳みの鏡と手袋を各自持参し、好きなように構成しデッサンする。2週連続の課題。
	11	期末考査対象課題: 卓上静物②	自宅にある静物を各自持参し、好きなように構成しデッサンする。2週連続の課題。
	12	期末考査対象課題: 卓上静物②	自宅にある静物を各自持参し、好きなように構成しデッサンする。2週連続の課題。
	13	発表	作品発表
	14	まとめ	就職用ポートフォリオに向けてのブラッシュアップ
	15	期末試験フィードバック	
	16	期末試験フィードバック	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	レタリング概論		指導担当者名	丸山 悦代
実務経験	デザイン会社、デザイン制作業務に2年従事			実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間	
学習到達目標	レタリング用具の使い方をマスターしレタリングの知識を習得する。 レタリング検定3級の問題を理解し、検定取得を目指す。			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する			
使用教材	書体サンプル集、実践レタリング、レタリング技能検定ガイド			
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	レタリング実習	レタリング用具の説明	
	2	レタリング技能検定について	受験要項の配布と説明、受験願書の記入	
	3	用具の使い方1	ロットリングと筆ペン	
	4	用具の使い方2	コンパスとディバイダー	
	5	フリーハンドによる字体視写1	基本の描き方(ひらがな、漢字)	
	6	フリーハンドによる字体視写2	練習①漢字(明朝体)	
	7	フリーハンドによる字体視写3	練習②漢字(ゴシック体)	
	8	和文基本書体表現1	基本の描き方(hiragana)	
	9	和文基本書体表現2	練習問題①	
	10	拡大視写	基本の描き方(カタカナ、アルファベット)	
	11	拡大視写	練習(アルファベット大文字)	
	12	拡大視写	練習(アルファベット小文字)	
	13	拡大視写	過去問題解説	
	14	まとめ	レポート作成	
	15	期末試験フィードバック		
	16	期末試験フィードバック		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	レタリング概論		指導担当者名	丸山 悦代	
実務経験	デザイン会社、デザイン制作業務に2年従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	イラストレーション科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	レタリング用具の使い方をマスターしレタリングの知識を習得する。 レタリング検定3級の問題を理解し、検定取得を目指す。				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	書体サンプル集、実践レタリング、レタリング技能検定ガイド				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	和文基本書体表現3	練習問題②		
	2	欧文基本書体の拡大視写1	基本の描き方		
	3	欧文基本書体の拡大視写2	練習問題①		
	4	欧文基本書体の拡大視写3	練習問題②		
	5	過去問題演習1	第44回、解法と解説		
	6	過去問題演習2	第45回A、解法と解説		
	7	過去問題演習3	第45回B、解法と解説		
	8	過去問題演習4	第47回A、解法と解説		
	9	過去問題演習5	第47回B、解法と解説		
	10	過去問題演習6	知識問題、解答と解説		
	11	過去問題演習7	第47回A、解法と解説		
	12	過去問題演習8	第47回B、解法と解説		
	13	期末試験	模擬試験		
	14	まとめ	レポート作成		
	15	期末試験フィードバック			
	16	期末試験フィードバック			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	イラストゼミ I		指導担当者名	陽華
実務経験	書家、SUNNYWRITER、書道パフォーマンスアーティストとして10年従事、現在も継続			実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間	
学習到達目標	プロのアーティストから表現の幅の広げ方を学ぶ			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する			
使用教材	各種画材			
授業外学習の方法	様々なアートに積極的に触れる			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	ジコショウカイ ハルヲカンジル	自己紹介、公園に行き、「春」を体感する	
	2	ショウライノユメ	将来の夢を絵の描く	
	3	セイザノセイシツ1	星座を調べ、自分の性質を知る	
	4	セイザノセイシツ2	太陽星座・月星座を描く	
	5	セイザノセイシツ3	ポストカードに仕上げる	
	6	セイザノセイシツ4	ポストカードに仕上げる	
	7	セイザノセイシツ5	発表	
	8	キエユクアート1	水で消えるシートに描く 見えないモノ達を考える	
	9	キエユクアート2	体を動かしながら描く	
	10	テーマ別制作1	エスキース	
	11	テーマ別制作2	カンブ	
	12	テーマ別制作3	制作①	
	13	テーマ別制作4	制作②	
	14	発表	作品のプレゼン、発表	
	15	期末試験フィードバック		
	16	期末試験フィードバック		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	イラストゼミ I		指導担当者名	陽華
実務経験	書家、SUNNYWRITER、書道パフォーマンスアーティストとして10年従事、現在も継続			実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間	
学習到達目標	プロのアーティストから表現の幅の広げ方を学ぶ			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する			
使用教材	各種画材			
授業外学習の方法	様々なアートに積極的に触れる			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	シメイラエガク1	自分の名前の漢字の成り立ちを調べる	
	2	シメイラエガク2	氏名の物語を描く	
	3	シヨメイ1	書道・名を書く	
	4	シヨメイ2	墨・紙の特質を学ぶ	
	5	ソウルカラー1	自分のオーラ、ソウルをパステルで描く	
	6	ソウルカラー2	他者のエネルギー、オーラを描いてみる	
	7	イエロー1	黄色について考える	
	8	イエロー2	相違感の違いについて考える	
	9	ミンナデエガク	作品のアイデア出し、グループディスカッション	
	10	ミンナデエガク	グループ制作のラフ原案の作成、準備	
	11	ミンナデエガク	共同制作	
	12	ミンナデエガク	共同制作	
	13	ミンナデエガク	修正と制作の完成図の共有	
	14	ミンナデエガク	共同制作、完成、撮影	
	15	期末試験フィードバック		
	16	期末試験フィードバック		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	アート概論		指導担当者名	丸山 悦代
実務経験				実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	イラストレーション科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:○	実技:
時間数	28時間	週時間数	2時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な作品に触れ、鑑賞するだけでなく、制作背景についても自ら調べることにより、複数の視点から作品の素晴らしさを理解する。 ・グループディスカッションや、発表の機会を増やし、プレゼンテーション能力の向上を目指す。 			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題、プレゼン内容 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する			
使用教材	PC、タブレット、プロジェクトペーパー			
授業外学習の方法	授業準備として、PC、タブレットの充電をしておく			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業説明	
	2	ジャクソンポロック「No.5」が何故高額で落札されたのか	作者と作品について調べ、グループディスカッション、発表	
	3	雪舟「秋冬山水図」日本画と抽象画の関係性	作者と作品について調べ、グループディスカッション、発表	
	4	フィンセント・ファン・ゴッホ「ひまわり」	作者と作品について調べ、グループディスカッション、発表	
	5	テーマ別制作	「色」をテーマにゼミ形式でイラストを制作する。	
	6	テーマ別制作、発表	「色」をテーマにゼミ形式でイラストを制作する、発表	
	7	哲学とバンクシー	作者と作品について調べ、グループディスカッション、発表	
	8	フェルメールの人気の変遷	作者と作品について調べ、グループディスカッション、発表	
	9	松本大洋の作品の特徴と作風	作者と作品について調べ、グループディスカッション、発表	
	10	鑑賞①	松本大洋作品の鑑賞	
	11	美術館に行こう①	CCGA美術館で作品鑑賞、レポート作成	
	12	美術館に行こう②	郡山市美術館で作品鑑賞、レポート作成	
	13	美術館に行こう③	郡山市美術館 アートキューブ実習	
	14	まとめ	レポート作成	
	15	期末試験フィードバック		
	16	期末試験フィードバック		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

科目名	ポートフォリオ制作実習		指導担当者名	野田 隆明
実務経験	広告代理店制作次長、同社にて12年間のデザイン制作に従事、現在も継続			実務経験： 有
開講時期	後期	対象学科学年	イラストレーション科 1年	
授業方法	講義：	演習：	実習：○	実技：
時間数	28時間	週時間数	2時間	
学習到達目標	ポートフォリオの制作方法について、現役の業界担当者から現状を踏まえて講話と実習を行い、ポートフォリオを完成させる。			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題、プレゼン内容 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する			
使用教材	PC、タブレット、プロジェクトペーパー			
授業外学習の方法	過年度生のポートフォリオを見ておく			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	オリエンテーション	授業説明	
	2	・制作物のコンセプトの考え方について	・制作物に対するコンセプトの重要性やコンセプトの立て方を理解する。	
	3	A&D 大学校キャラクタープレゼン	国際A&D大学校のキャラクターデザインをコンセプトから構築する。コンセプト、デザインについてプレゼンを実施。	
	4	A&D 大学校キャラクタープレゼン 大きい誌面でも保つキャラクターについて	大きい誌面でも保つてキャラクター・イラスト・デザインに必要なことなど解説。東邦銀行ビッグサマーキャンペーンポスター制作	
	5	東邦銀行ビッグサマーキャンペーンデザインプレゼン実務紹介	コンセプト、デザインについてプレゼンを実施。全建総連福島60周年記念誌制作に伴う、周年記念ロゴの制作	
	6	周年記念ロゴのプレゼン インスタプロモーションについて	お得意へ提出可能なデザインにおいては、修正対応してもらい提出までにブラッシュアップを行う。インスタプロモーション・POPの考え方、制作を始めるに当たり必要な情報の落とし込み	
	7	父の日POPのプレゼン	コンセプト、デザインについてプレゼンを実施。	
	8	アイデアを盛り込んだイラストプレゼン	コンセプト、デザインについてプレゼンを実施。	
	9	インスタプロモーション POP制作(ハロウィン)	コンセプト、デザインについてプレゼンを実施。	
	10	イベントロゴのプレゼン	イベントタイトルロゴを作る※実務実績案件を用いて、タイトル案を提示し、イラレを使用しタイトルロゴを制作する。	
	11	スノーボード早期販売会チラシデザインプレゼン	コンセプト、デザインについてプレゼンを実施。	
	12	コンペ制作・ポートフォリオ制作1	ポートフォリオの制作	
	13	コンペ制作・ポートフォリオ制作2	ポートフォリオの制作 ブラッシュアップのための添削	
	14	まとめ	レポート作成 ブラッシュアップのための添削	
	15	期末試験フィードバック		
	16	期末試験フィードバック		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	人物背景描画実習	指導担当者名	丸山 悦代
実務経験	デザイン会社、デザイン制作業務に2年従事		実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・遠近法を用いて作画できる技術を習得する。 ・人物デッサンでリアルな表現を習得する。 レタリング検定3級の問題を理解し、検定取得を目指す。 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する		
使用教材	各種画材		
授業外学習の方法	絵本を数冊読んでおく		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	授業目的、内容、背景の重要性	授業目的、内容、背景の重要性
	2	鉛筆のトーンで人物デッサン	鉛筆描画①トーン練習
	3	鉛筆のトーンで人物デッサン	鉛筆描画②輪郭線や面の境界線を消す
	4	鉛筆のトーンで人物デッサン	鉛筆描画③鉛筆の濃淡で色を付ける
	5	鉛筆のトーンで人物デッサン	鉛筆描画④描き込み
	6	鉛筆のトーンで人物デッサン	鉛筆描画⑤仕上げ
	7	パーツの描き分け	人物を描く パーツ 目
	8	パーツの描き分け	人物を描く パーツ 鼻
	9	パーツの描き分け	人物を描く パーツ 口
	10	一点透視図法の基本	一点透視図法
	11	二点透視図法の基本	二点透視図法
	12	三点透視図法の基本	三点透視図法
	13	等角投影図法の基本	等角投影図法
	14	レポート作成	まとめ
	15	期末試験フィードバック	
	16	期末試験フィードバック	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	人物背景描画実習	指導担当者名	丸山 悦代
実務経験	デザイン会社、デザイン制作業務に2年従事		実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・遠近法を用いて作画できる技術を習得する。 ・人物デッサンでリアルな表現を習得する。 レタリング検定3級の問題を理解し、検定取得を目指す。		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する		
使用教材	各種画材		
授業外学習の方法	使用画材の準備		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	確認テスト	前期復習
	2	風景	応用パース
	3	室内	応用パース
	4	街並み	応用パース
	5	自然物と人工物	背景実践力向上
	6	自然物と人工物	背景実践力向上
	7	写真・資料から	背景実践力向上
	8	写真・資料から	背景実践力向上
	9	マンガの中で見る背景	背景実践力向上
	10	小物描写	背景実践力向上
	11	期末試験	まとめ
	12	パースを使ったイラスト制作	テーマ別制作
	13	パースを使ったイラスト制作	テーマ別制作
	14	発表、レポート作成	まとめ
	15	期末試験フィードバック	
	16	期末試験フィードバック	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	色彩概論 I	指導担当者名	丸山 悦代
実務経験			実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 1年
授業方法	講義:○	演習:○	実習: 実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間
学習到達目標	色彩検定3級合格を目指す。		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する		
使用教材	色彩概論テキスト		
授業外学習の方法	授業の内容を復習しておく		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業趣旨説明、簡単な実習
	2	確認テスト番号	教科書、問題集PCCS
	3	確認テスト色のはたらきについて	教科書、問題集色のはたらき、色とイメージ
	4	確認テスト光と色	教科書、問題集色はなぜ見えるのか、目のしくみ
	5	確認テスト混色	教科書、問題集照明と色の見え方、加法混色、減法混色
	6	確認テスト色の分類と三属性	教科書、問題集色の三属性、等色相面
	7	確認テストPCCS色相	教科書、問題集色相、明度、彩度、トーンのイメージ
	8	確認テストトーン記号	教科書、問題集色相とトーンによる色の表示方法
	9	確認テスト慣用色名①	教科書、問題集慣用句名、暖色と寒色
	10	確認テスト色彩心理	教科書、問題集進出色と後退色、膨張色と収縮色
	11	確認テスト色対比と錯視	教科書、問題色対比、同化効果、色陰現象、色の錯視
	12	確認テスト色彩調和	教科書、問題集配色、色相から配色を考える
	13	確認テスト色彩効果	教科書、問題集配色技法、色彩と構成
	14	まとめ	レポート作成
	15	期末試験フィードバック	
	16	期末試験フィードバック	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	色彩概論 I		指導担当者名	丸山 悦代
実務経験				実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 1年	
授業方法	講義:○	演習:○	実習:	実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間	
学習到達目標	色彩検定3級合格を目指す。			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する			
使用教材	色彩概論テキスト			
授業外学習の方法	授業の内容を復習しておく			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	確認テスト授業説明	教科書、問題集	
	2	確認テスト色彩と生活	教科書、問題集生活環境と色彩、生活環境とカラーコーディネーション	
	3	確認テストファッションと色彩	教科書、問題集ファッションとは、ファッションコーディネートにおける色彩、基本的なカラーコーディネート	
	4	確認テストインテリアと色彩	教科書、問題集インテリアとは、住宅インテリアの色彩	
	5	確認テストインテリアのカラーコーディネーション	教科書、問題集インテリアのカラーコーディネーション、インテリアにおける色の心理的効果	
	6	確認テストコーポレートカラー	教科書、問題集インテリアの配色、インテリアにおける色彩検討、コーポレートカラー	
	7	確認テスト慣用色名②	教科書、問題集慣用句名説明	
	8	確認テスト過去問題	2018冬解答と解説	
	9	確認テスト過去問題	2019夏解答と解説	
	10	確認テスト過去問題	2018夏解答と解説	
	11	確認テスト過去問題	2018冬解答と解説	
	12	確認テスト過去問題	2019夏解答と解説	
	13	色彩検定2級についての説明	次年度概要説明	
	14	まとめ	レポート作成	
	15	期末試験フィードバック		
	16	期末試験フィードバック		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	デジタルソフト実習 I		指導担当者名	丸子 遥華	
実務経験	デザイン制作会社、デザイン制作業務に2年従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	イラストレーション科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	アプリケーションのアドバンススキル習得 * 前期ではサーティファイIllustratorクリエイター能力認定試験スタンダード取得を目指す * 後期ではサーティファイPhotoshopクリエイター能力認定試験スタンダード取得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席 期末試験 中間試験 検定可否結果(参考) 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	Machintosh PC, IllustratorクイックマスターCC (Win/Mac) 対応, PhotoshopクイックマスターCC (Win/Mac) 対応				
授業外学習の方法	・テキストを使つての事前予習 ・テキストを使つての実技練習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	Illustrator検定対策(スタンダード)	クイックマスターIllustratorの基礎知識/インターフェース・ツール・パネル		
	2	Illustrator検定対策(スタンダード)	クイックマスターIllustratorの基礎知識/アートワーク・アートボード ナビゲーター・ガイド・環境設定		
	3	Illustrator検定対策(スタンダード)	クイックマスターIllustratorの基本操作/オブジェクトの設定と描画		
	4	Illustrator検定対策(スタンダード)	クイックマスターIllustratorの基本操作/編集操作(OP・前後関係・グループ化・移動)		
	5	Illustrator検定対策(スタンダード)	クイックマスターIllustratorの基本操作/カラー設定・レイヤー オブジェクトの組み合わせ		
	6	Illustrator検定対策(スタンダード)	クイックマスターIllustratorの基本操作/文字の作成・文字関連の機能		
	7	Illustrator検定対策(スタンダード)	クイックマスターIllustratorの基本操作/パスの基本的な描画と編集		
	8	Illustrator検定対策(スタンダード)	クイックマスターIllustratorの応用操作/線とアピアランス		
	9	Illustrator検定対策(スタンダード)	クイックマスターIllustratorの応用操作/レイアウトの補助機能		
	10	Illustrator検定対策(スタンダード)	クイックマスターIllustratorの応用操作/グラデーション・スウォッチ・パターン		
	11	過去問題	スタンダード模擬問題-1 解説		
	12	過去問題	スタンダード模擬問題-2 解説		
	13	前期期末試験	練習問題		
	14	前期振り返り	練習問題解答、解説		
	15	期末試験フィードバック			
	16	期末試験フィードバック			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	デジタルソフト実習 I		指導担当者名	丸子 遥華	
実務経験	デザイン制作会社、デザイン制作業務に2年従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	イラストレーション科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	アプリケーションのアドバンススキル習得 * 前期ではサーティファイIllustratorクリエイター能力認定試験スタンダード取得を目指す * 後期ではサーティファイPhotoshopクリエイター能力認定試験スタンダード取得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席 期末試験 中間試験 検定合否結果(参考) 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	Machintosh PC, IllustratorクイックマスターCC (Win/Mac) 対応, PhotoshopクイックマスターCC (Win/Mac) 対応				
授業外学習の方法	・テキストを使つての事前予習 ・テキストを使つての実技練習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	Photoshop検定対策(スタンダード)	クイックマスターPhotoshopの基礎知識/インターフェース・ドキュメントウィンドウ・ツール・パネル		
	2	Photoshop検定対策(スタンダード)	クイックマスターPhotoshopの基礎知識/画面表示・色の選択・環境設定		
	3	Photoshop検定対策(スタンダード)	クイックマスターPhotoshopの基本操作/選択ツール・範囲の読み込み		
	4	Photoshop検定対策(スタンダード)	クイックマスターPhotoshopの基本操作/画像解像度とサイズリミング		
	5	Photoshop検定対策(スタンダード)	クイックマスターPhotoshopの基本操作/変形・カラーモード色調補正		
	6	Photoshop検定対策(スタンダード)	クイックマスターPhotoshopの基本操作/ペイント・レタッチ・レイヤーの操作		
	7	Photoshop検定対策(スタンダード)	クイックマスターPhotoshopの基本操作/パス・切抜・シェイプ・フィルター・テキストの入力について		
	8	Photoshop検定対策(スタンダード)	クイックマスターPhotoshopの応用操作/コンテンツ制作・ロゴ制作/カスタムシェイプ		
	9	Photoshop検定対策(スタンダード)	クイックマスターPhotoshopの応用操作/コンテンツ制作・フォトカード/アクション		
	10	Photoshop検定対策(スタンダード)	クイックマスターPhotoshopの応用操作/Webページの制作		
	11	過去問題	スタンダード模擬問題-1 解説		
	12	過去問題	スタンダード模擬問題-2 解説		
	13	前期期末試験	練習問題		
	14	前期振り返り	練習問題解答、解説		
	15	期末試験フィードバック			
	16	期末試験フィードバック			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	画材習得実習 I		指導担当者名	大町 亨	
実務経験	モダンアート展会員、福島県美術協会常任幹事 自身の制作と絵画教室などを10年以上にわたり従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	イラストレーション科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	アナログ画材の特性を理解し、技術の習得と向上を目的とする				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	各種画材				
授業外学習の方法	授業前に画材を準備する				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	自己紹介		
	2	鉛筆	鉛筆の濃淡の表現		
	3	色鉛筆	色の重ねによる表現		
	4	水彩色鉛筆1	カラーチャート制作		
	5	水彩色鉛筆2	作品紹介と水筆の使い方		
	6	水彩絵の具1	作品制作		
	7	水彩絵の具2	作品制作		
	8	水彩絵の具3	作品制作		
	9	構図について	静物画の配置における構図の説明		
	10	キャンバスについて	規格と構造、使用について		
	11	マチエールについて	下地説明とマチエールづくりについて		
	12	テーマ別作品制作	作品制作、エスキース、カンブ		
	13	テーマ別作品制作	作品制作		
	14	テーマ別作品制作	作品制作		
	15	期末試験フィードバック			
	16	期末試験フィードバック			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	画材習得実習 I		指導担当者名	大町 亨	
実務経験	モダンアート展会員、福島県美術協会常任幹事 自身の制作と絵画教室などを10年以上にわたり従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	イラストレーション科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	アナログ画材の特性を理解し、技術の習得と向上を目的とする				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	各種画材				
授業外学習の方法	授業前に画材を準備する				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	キャンバスについて	規格と構造、使用について、キャンバスのはがし方		
	2	キャンバスを張る	ロールキャンバス、木枠		
	3	アクリル絵の具	特性と効果		
	4	ターナーアワード出品作品制作	コンペ出品作品の制作、エスキース		
	5	ターナーアワード出品作品制作	コンペ出品作品の制作、カンブ		
	6	ターナーアワード出品作品制作	コンペ出品作品の制作、本制作		
	7	ターナーアワード出品作品制作	コンペ出品作品の制作、本制作		
	8	ターナーアワード出品作品制作	コンペ出品作品の制作、本制作		
	9	ターナーアワード出品作品制作	コンペ出品作品の制作、仕上げ、撮影		
	10	油彩1	油絵具の特性と歴史		
	11	油彩2	油彩技法グリザイユについて		
	12	油彩3	自画像、下描き		
	13	油彩4	自画像、本書描き		
	14	油彩5	自画像、完成		
	15	期末試験フィードバック			
	16	期末試験フィードバック			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	クライアントワーク I	指導担当者名	丸山 悦代
実務経験			実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	84時間	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・産学連携、企業依頼課題、イベント参加準備 ・作品制作を通して自身の活動をアピールする準備をすることを目的とする 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・イベント参加、準備 ・提出課題、プレゼン内容 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する		
使用教材	PC、タブレット、プロジェクトペーパー		
授業外学習の方法	イベントや産学連携先についてのリサーチをする		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業説明
	2	産学連携準備	過年度産学連携実績の概要説明
	3	アート研究旅行	福島県立美術館伊藤若冲展鑑賞
	4	イベント企画、運営	新入生歓迎会の企画、運営OJT
	5	イベント準備	水張りの手順と実践
	6	イベント	陶芸教室、大堀相馬焼体験 手びねりでコーヒーカップ制作
	7	イベント準備	F50キャンパスの張りかたレクチャー会
	8	職業実践	CCGA現代グラフィックアートセンター「仲條正義展」鑑賞
	9	イベント準備	セタディスプレイデザイン
	10	産学連携課題①	(株)ユニフォームネット依頼 クラウドファンディング会津型Tシャツデザイン デザイン案エスキース
	11	産学連携課題②	(株)ユニフォームネット依頼 クラウドファンディング会津型Tシャツデザイン データ制作
	12	産学連携課題③	(株)ユニフォームネット依頼 クラウドファンディング会津型Tシャツデザイン データ制作
	13	産学連携課題④	(株)ユニフォームネット依頼 クラウドファンディング会津型Tシャツデザイン プレゼン
	14	産学連携準備	イラストワークショップ練習会①
	15	期末試験フィードバック	
	16	期末試験フィードバック	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	クライアントワーク I		指導担当者名	丸山 悦代
実務経験				実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	84時間	週時間数	3時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・産学連携、企業依頼課題、イベント参加準備 ・作品制作を通して自身の活動をアピールする準備をすることを目的とする 			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・イベント参加、準備 ・提出課題、プレゼン内容 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する			
使用教材	PC、タブレット、プロジェクトペーパー			
授業外学習の方法	イベントや産学連携先についてのリサーチをする			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	産学連携準備	イラストワークショップ練習会②	
	2	産学連携準備	イラストワークショップ練習会③	
	3	産学連携準備	三春アートクリエイター教室 概要説明、資料作成、準備	
	4	産学連携準備	三春アートクリエイター教室 資料作成、準備	
	5	産学連携準備	三春アートクリエイター教室 資料作成、準備	
	6	産学連携準備	似顔絵レクチャー	
	7	産学連携準備	似顔絵練習	
	8	産学連携	ブランワークショップ準備	
	9	産学連携	絵本制作ワークショップ準備	
	10	産学連携	似顔絵ワークショップ準備	
	11	産学連携	似顔絵ワークショップ準備	
	12	産学連携	産学連携課題の制作とプレゼン	
	13	産学連携	産学連携課題の説明と制作	
	14	まとめ	レポート作成	
	15	期末試験フィードバック		
	16	期末試験フィードバック		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	修了制作	指導担当者名	学科担任名	
実務経験			実務経験:	
開講時期	後期	対象学科学年	イラストレーション科1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:	
時間数	180時間	週時間数	6週/180時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学科で学んだ内容を活かした作品制作 ・テーマを掲げ対象者を意識した作品制作 ・自らの作品をアピールするプレゼンテーションが出来る 			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・修了生:それぞれの学科の規定により定められた以上の分量、質で1年間の集大成となる作品制作をすること また、学科内で行われるプレゼンテーションにて完成品を発表し、卒業修了制作展で作品展示をすること 評価項目「作品の量」「作品の質」「完成度の高さ」「企画の質」「プレゼン能力」 			
使用教材	それぞれの学科制作毎の規定に沿った画材、教材を使用する事			
授業外学習の方法	制作にあたり、事前の企画・計画をそれぞれ複数の先生方と行い、チェックをもらう事			
学期	ターム (週)	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	作品制作開始	事前に準備していた企画・計画に沿ってそれぞれ制作にあたる	
	2	作品制作2	個別添削を行いながら制作を進めていく	
	3	作品制作3	中間発表を行い、プレゼンテーション準備と展示企画についても可視化していく	
	4	学科内プレゼンテーション	学科内でプレゼンテーションを実施 学科担任、学科非常勤講師、学科内学生全てでプレゼンテーションを聞く ・制作のポイント ・展示計画 ・プレゼン能力 ・資料の見やすさ など	
	5	発表を受けての修正と展示準備	各教室での展示計画と準備、 また、プレゼンテーションで受けた指摘の修正と追加制作	
	6	卒業・修了制作展	展示計画の基づき展示をし、外部の一般来場者を入れての作品発表を実施 ・学科内の作品の見どころの紹介 ・一般来場者の対応 *学科内シフトにより登校 展示終了後は撤収と作品保管をする	
	履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、発表機会を与えない ・プレゼンテーションにて不合格だった場合、修正し、翌週期限を設け再プレゼンを実施 そこで一定の評価があれば合格とする ・再プレゼンで不合格の場合認定となる 				

授業計画(シラバス)

科目名	著作権概論	指導担当者名	岡部 美保
実務経験			実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科2年
授業方法	講義:○	演習:○	実習: 実技:
時間数	28時間	週時間数	1時間
学習到達目標	あらゆる業種、部署や日常生活においても著作権の知識が必須となっているため、BASIC検定の内容を中心に学習する。		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・検定問題対策テストによる評価 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する		
使用教材	ビジネス著作権検定／公式テキスト		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業の流れ、模擬オーディション
	2	試験概要説明	ビジネス著作権検定の試験概要、著作権を学習する前について
	3	第1章 著作権とは何か	著作権とは何か
	4	第2章 著作権で保護されるもの①	著作権で保護されるもの(1)(2)
	5	第2章 著作権で保護されるもの②	著作権で保護されるもの(3)(4)
	6	第2章 著作権で保護されるもの③	著作物該当性に関するその他の問題点、著作物の例示、特別な著作物
	7	第3章 著作権は誰が持つ	著作者の定義、著作者の例外、著作者と著作権者
	8	第4章 著作権の内容①	著作権の内容 人格権と財産権、著作者人格権(公表権、氏名表示権、同一性保持権、一身専属性)
	9	第4章 著作権の内容②	財産権としての著作権、複製権、上映権、演奏権、上演権
	10	第4章 著作権の内容③	公衆送信権、貸与権、譲渡権、頒布権、二次的著作物
	11	著作権のトラブル	著作権が絡む事件・ニュースを調べる
	12	第5章 著作権はいつまで保護される	著作権の始期、著作権の保護期間、国際的保護
	13	著作権前期復習	前期学習内容の復習
	14	期末試験	著作権概論 筆記試験
	15	期末試験フィードバック	
	16	期末試験フィードバック	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	著作権概論		指導担当者名	岡部 美保
実務経験				実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科2年	
授業方法	講義:○	演習:○	実習:	実技:
時間数	28時間	週時間数	1時間	
学習到達目標	あらゆる業種、部署や日常生活においても著作権の知識が必須となっているため、BASIC検定の内容を中心に学習する。			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・検定問題対策テストによる評価 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する			
使用教材	ビジネス著作権検定／公式テキスト			
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	期末試験振り返り	著作権の譲渡、利用許諾、契約	
	2	第7章 勝手に使える場合がある①	権利制限規定、私的使用関係①、②	
	3	第7章 勝手に使える場合がある②	付属的著作物、教育関係、図書館関係	
	4	第7章 勝手に使える場合がある③	非営利無償の上演・演奏等、貸与、引用関係	
	5	第8章 著作物を伝達する者を保護する制度①	著作隣接権とは	
	6	第8章 著作物を伝達する者を保護する制度②	著作隣接権者(実演家、レコード製作者)	
	7	第8章 著作物を伝達する者を保護する制度③	著作隣接権者(放送事業者、有線放送事業者)、著作隣接権の保護期間	
	8	第9章 勝手に使うとどうなるか①	著作権の侵害	
	9	第9章 勝手に使うとどうなるか②	みなし侵害、著作権侵害罪、民事的対策	
	10	第10章 著作権に関する制度	知的財産権、情報モラルと著作権	
	11	検定対策①	模擬問題	
	12	検定対策②	模擬問題	
	13	期末試験	模擬問題	
	14	期末試験振り返り	著作権検定の実施	
	15	期末試験フィードバック		
	16	期末試験フィードバック		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	就職実務Ⅱ	指導担当者名	丸山 悦代
実務経験			実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	28時間	週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動指導をし就職できる力をつける事を目標とする。 *学生の進路にあわせて指導(プロ志望、業界志望、一般志望)		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・履歴書、作文提出 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する		
使用教材	動画教材 実践ビジネスマナー		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	履歴書の書き方おさらい	志望企業の選定
	2	履歴書確認1	自己PR、志望動機
	3	履歴書確認2	履歴書の作成
	4	履歴書確認3	履歴書の作成
	5	面接対策1	面接練習とポイント、第一印象をよくする
	6	面接対策2	ビジネスマナー、新聞を読む
	7	面接対策3	面接練習
	8	個別指導	面接練習 履歴書、面接シートの確認
	9	個別指導	面接練習 履歴書、面接シートの確認
	10	個別指導	面接練習 履歴書、面接シートの確認
	11	個別指導	面接練習 履歴書、面接シートの確認
	12	個別指導	面接練習 履歴書、面接シートの確認
	13	個別指導	面接練習 履歴書、面接シートの確認
	14	個別指導	面接練習 履歴書、面接シートの確認
	15	期末試験フィードバック	
	16	期末試験フィードバック	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	就職実務Ⅱ		指導担当者名	丸山 悦代
実務経験				実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	28時間	週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動指導をし就職できる力をつける事を目標とする。 *学生の進路にあわせて指導(プロ志望、業界志望、一般志望)			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・履歴書、作文提出 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する			
使用教材	動画教材 実践ビジネスマナー			
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	個別指導、筆記試験対策	個別の進路に合わせて添削を行う 毎週確認	
	2	個別指導、筆記試験対策	ビジネスマナー	
	3	個別指導、筆記試験対策	一般常識	
	4	個別指導、筆記試験対策	一般常識	
	5	個別指導、筆記試験対策	一般常識	
	6	個別指導、筆記試験対策	適性検査 内田クレペリン検査	
	7	個別指導、筆記試験対策	適性検査 SPI2	
	8	個別指導、筆記試験対策	適性検査 CAB・GAB	
	9	個別指導、筆記試験対策	適性検査 TG-WEB	
	10	個別指導、筆記試験対策	適性検査 リクルーティング・ウィザード	
	11	個別指導、筆記試験対策	適性検査 WEB-IMR	
	12	個別指導、筆記試験対策	適性検査 SCOA	
	13	個別指導、筆記試験対策	適性検査 、IMAGES	
	14	まとめ	レポート作成	
	15	期末試験フィードバック		
	16	期末試験フィードバック		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	コミュニティアート研究		指導担当者名	丸山 悦代	
実務経験	デザイン会社、デザイン制作業務に2年従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	イラストレーション科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な作品に触れ、鑑賞するだけでなく、制作背景についても自ら調べることにより、複数の視点から作品の素晴らしさを理解する。 ・グループディスカッションや、発表の機会を増やし、プレゼンテーション能力の向上を目指す。 				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題、プレゼン内容 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	PC、タブレット、プロジェクトペーパー				
授業外学習の方法	授業準備として、PC、タブレットの充電を済ませておく				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション、デザインフェスタ準備	オリエンテーション、デザインフェスタライブペイント戦略		
	2	デザインフェスタ準備	ライブペイントラフデザイン、制作工程の共通理解		
	3	産学連携ムシムシランド①	POP練習		
	4	産学連携ムシムシランド②	ポスターラフ案		
	5	産学連携ムシムシランド③	ブラッシュアップ		
	6	ジャクソンポロック「No.5」	作者と作品について調べ、グループディスカッション、発表		
	7	雪舟「秋冬山水図」	作者と作品について調べ、グループディスカッション、発表		
	8	フィンセント・ファン・ゴッホ「ひまわり」	作者と作品について調べ、グループディスカッション、発表		
	9	バンクシー	作者と作品について調べ、グループディスカッション、発表		
	10	フェルメール	作者と作品について調べ、グループディスカッション、発表		
	11	松本大洋	作者と作品について調べ、グループディスカッション、発表		
	12	ポプテピピック	作者と作品について調べ、グループディスカッション、発表		
	13	ランドスケープ	ランドスケープデザインについて、実地調査		
	14	ランドスケープ	ランドスケープデザインについて、実地調査		
	15	期末試験フィードバック			
	16	期末試験フィードバック			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	コミュニティアート研究		指導担当者名	丸山 悦代	
実務経験	デザイン会社、デザイン制作業務に2年従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	イラストレーション科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な作品に触れ、鑑賞するだけでなく、制作背景についても自ら調べることにより、複数の視点から作品の素晴らしさを理解する。 ・グループディスカッションや、発表の機会を増やし、プレゼンテーション能力の向上を目指す。 				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題、プレゼン内容 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	PC、タブレット、プロジェクトペーパー				
授業外学習の方法	授業準備として、PC、タブレットの充電を済ませておく				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	空間演出デザイン	作品鑑賞と解説		
	2	空間演出デザイン	個人作業 エスキース		
	3	空間演出デザイン	グループディスカッション		
	4	空間演出デザイン	ランドスケープ、空間演出デザインを踏まえて、グループワーク		
	5	空間演出デザイン	発表		
	6	テーマ別制作	個人制作 エスキース		
	7	テーマ別制作	個人制作 カンプ		
	8	テーマ別制作	本制作		
	9	テーマ別制作	本制作		
	10	テーマ別制作	プレゼン資料作成		
	11	テーマ別制作	プレゼン資料制作		
	12	テーマ別制作	プレゼン		
	13	テーマ別制作	プレゼン、講評		
	14	まとめ	レポート作成		
	15	期末試験フィードバック			
	16	期末試験フィードバック			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	イラストゼミ I		指導担当者名	陽華
実務経験	書家、SUNNYWRITER、書道パフォーマンスアーティストとして10年従事、現在も継続			実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間	
学習到達目標	プロのアーティストから表現の幅の広げ方を学ぶ			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する			
使用教材	各種画材			
授業外学習の方法	アートやパフォーマンスイベントに積極的に参加する			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	ジコショウカイ ハルヲカンジル	自己紹介、公園に行き、「春」を体感する	
	2	ショウライノユメ	将来の夢を絵の描く	
	3	セイザノセイシツ1	星座を調べ、自分の性質を知る	
	4	セイザノセイシツ2	太陽星座・月星座を描く	
	5	セイザノセイシツ3	ポストカードに仕上げる	
	6	セイザノセイシツ4	ポストカードに仕上げる	
	7	セイザノセイシツ5	発表	
	8	キエユクアート1	水で消えるシートに描く 見えないモノ達を考える	
	9	キエユクアート2	体を動かしながら描く	
	10	テーマ別制作1	エスキース	
	11	テーマ別制作2	カンブ	
	12	テーマ別制作3	制作①	
	13	テーマ別制作4	制作②	
	14	発表	作品のプレゼン、発表	
	15	期末試験フィードバック		
	16	期末試験フィードバック		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	イラストゼミ I		指導担当者名	陽華
実務経験	書家、SUNNYWRITER、書道パフォーマンスアーティストとして10年従事、現在も継続			実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間	
学習到達目標	プロのアーティストから表現の幅の広げ方を学ぶ			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する			
使用教材	各種画材			
授業外学習の方法	アートやパフォーマンスイベントに積極的に参加する			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	シメイラエガク1	自分の名前の漢字の成り立ちを調べる	
	2	シメイラエガク2	氏名の物語を描く	
	3	シヨメイ1	書道・名を書く	
	4	シヨメイ2	墨・紙の特質を学ぶ	
	5	ソウルカラー1	自分のオーラ、ソウルをパステルで描く	
	6	ソウルカラー2	他者のエネルギー、オーラを描いてみる	
	7	イエロー1	黄色について考える	
	8	イエロー2	相違感の違いについて考える	
	9	ミンナデエガク	共同制作 企画立案	
	10	ミンナデエガク	共同制作、グループディスカッション	
	11	ミンナデエガク	共同制作、グループワーク	
	12	ミンナデエガク	共同制作、本制作	
	13	ミンナデエガク	共同制作、本制作	
	14	ミンナデエガク	共同制作、発表	
	15	期末試験フィードバック		
	16	期末試験フィードバック		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	レタリング演習		指導担当者名	丸山 悦代	
実務経験	デザイン会社、デザイン制作業務に2年従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	イラストレーション科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	レタリング用具の使い方をマスターしレタリングの知識を習得する。 レタリング検定3級の問題を理解し、検定取得を目指す。				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	書体サンプル集、実践レタリング、レタリング技能検定ガイド				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	レタリング実習	レタリング用具の説明		
	2	レタリング技能検定について	受験要項の配布と説明、受験願書の記入		
	3	用具の使い方1	ロットリングと筆ペン		
	4	用具の使い方2	コンパスとディバイダー		
	5	フリーハンドによる字体視写1	基本の描き方(ひらがな、漢字)		
	6	フリーハンドによる字体視写2	練習①漢字(明朝体)		
	7	フリーハンドによる字体視写3	練習②漢字(ゴシック体)		
	8	和文基本書体表現1	基本の描き方(hiragana)		
	9	和文基本書体表現2	練習問題①		
	10	拡大視写	基本の描き方(カタカナ、アルファベット)		
	11	拡大視写	練習(アルファベット大文字)		
	12	拡大視写	練習(アルファベット小文字)		
	13	拡大視写	過去問題解説		
	14	まとめ	レポート作成		
	15	期末試験フィードバック			
	16	期末試験フィードバック			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	レタリング演習		指導担当者名	丸山 悦代	
実務経験	デザイン会社、デザイン制作業務に2年従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	イラストレーション科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	レタリング用具の使い方をマスターしレタリングの知識を習得する。 レタリング検定3級の問題を理解し、検定取得を目指す。				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	書体サンプル集、実践レタリング、レタリング技能検定ガイド				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	和文基本書体表現3	練習問題②		
	2	欧文基本書体の拡大視写1	基本の描き方		
	3	欧文基本書体の拡大視写2	練習問題①		
	4	欧文基本書体の拡大視写3	練習問題②		
	5	過去問題演習1	第44回、解法と解説		
	6	過去問題演習2	第45回A、解法と解説		
	7	過去問題演習3	第45回B、解法と解説		
	8	過去問題演習4	第47回A、解法と解説		
	9	過去問題演習5	第47回B、解法と解説		
	10	過去問題演習6	知識問題、解答と解説		
	11	過去問題演習7	第47回A、解法と解説		
	12	過去問題演習8	第47回B、解法と解説		
	13	期末試験	模擬試験		
	14	まとめ	レポート作成		
	15	期末試験フィードバック			
	16	期末試験フィードバック			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	業界研究		指導担当者名	野田 隆明
実務経験	広告代理店制作次長、同社にて12年間のデザイン制作に従事、現在も継続			実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	イラストレーション科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	28時間	週時間数	2時間	
学習到達目標	デザイン業界の現状を理解し、求められているスキルをアピールするポートフォリオを制作する。また、企業連携課題に取り組み自身のアピール素材とする。			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題、プレゼン内容 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する			
使用教材	PC、タブレット、プロジェクトペーパー			
授業外学習の方法	デザイン業界についてのリサーチをしておく			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業説明	
	2	・制作物のコンセプトの考え方について	制作物に対するコンセプトの重要性やコンセプトの立て方を理解する。	
	3	A&D大学校キャラクタープレゼン	国際A&D大学校のキャラクターデザインをコンセプトから構築する。コンセプト、デザインについてプレゼンを実施。	
	4	A&D大学校キャラクタープレゼン大きい誌面でも保つキャラクターについて	大きい誌面でも保つてキャラクター・イラスト・デザインに必要なことなど解説。東邦銀行ビッグサマーキャンペーンポスター制作	
	5	東邦銀行ビッグサマーキャンペーンデザインプレゼン実務紹介	コンセプト、デザインについてプレゼンを実施。全建総連福島60周年記念誌制作に伴う、周年記念ロゴの制作	
	6	周年記念ロゴのプレゼンインスタプロモーションについて	お得意へ提出可能なデザインにおいては、修正対応してもらい提出までにブラッシュアップを行う。インスタプロモーション・POPの考え方。制作を始めるに当たり必要な情報の落とし込み	
	7	父の日POPのプレゼン	コンセプト、デザインについてプレゼンを実施。	
	8	アイデアを盛り込んだイラストプレゼン	コンセプト、デザインについてプレゼンを実施。	
	9	インスタプロモーション POP制作(ハロウィン)	コンセプト、デザインについてプレゼンを実施。	
	10	イベントロゴのプレゼン	イベントタイトルロゴを作る※実務実績案件を用いて、タイトル案を提示し、イラレを使用しタイトルロゴを制作する。	
	11	スノーボード早期販売会チラシデザインプレゼン	コンセプト、デザインについてプレゼンを実施。	
	12	コンペ制作・ポートフォリオ制作1	ポートフォリオの制作	
	13	コンペ制作・ポートフォリオ制作2	ポートフォリオの制作 ブラッシュアップのための添削	
	14	まとめ	レポート作成 ブラッシュアップのための添削	
	15	期末試験フィードバック		
	16	期末試験フィードバック		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	造形実習Ⅱ	指導担当者名	丸山 悦代
実務経験			実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・立体造形の基礎を養うこと ・紙、粘土、石膏の加工方法を取得すること ・立面図を理解すること 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する</p>		
使用教材	石膏、紙、木工など、各種道具		
授業外学習の方法	プラモデルなどの立体物を作成しておくとい		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業説明
	2	キャラクターデザイン	制作手順の説明、エスキース
	3	キャラクターデザイン	キャラクター設定
	4	キャラクターデザイン	ラフスケッチ
	5	キャラクターデザイン	本制作
	6	キャラクターデザイン	プレゼン
	7	石膏での造形1	石膏の特徴、主な用途
	8	石膏での造形2	石膏での造形、原型制作
	9	石膏での造形3	石膏での造形、ライフマスク制作①
	10	石膏での造形4	石膏での造形、ライフマスク制作①
	11	彫塑1	アーチスタフォルモ粘土での造形①説明、アイディアスケッチ
	12	彫塑2	アーチスタフォルモ粘土での造形②心棒作成と土台作り
	13	彫塑3	アーチスタフォルモ粘土での造形③本制作
	14	まとめ	
	15	期末試験フィードバック	
	16	期末試験フィードバック	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	造形実習Ⅱ		指導担当者名	丸山 悦代
実務経験				実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・立体造形の基礎を養うこと ・紙、粘土、石膏の加工方法を取得すること ・立面図を理解すること 			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する			
使用教材	石膏、紙、木工など、各種道具			
授業外学習の方法	プラモデルなどの立体物を作成しておくとい			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	紙での造形1	ペーパークラフト 紙の種類と特製、立体制作	
	2	紙での造形2	ペーパークラフト ポップアップカード制作	
	3	紙での造形3	ペーパークラフト 帽子デザイン	
	4	紙での造形4	プレゼン	
	5	テーマ別制作	授業説明、計画表の作成	
	6	テーマ別制作	ゼミ形式 立体を意識したテーマ設定、エスキース	
	7	テーマ別制作	ゼミ形式 立体を意識したテーマ設定、カンブ	
	8	テーマ別制作	ゼミ形式 立体を意識したテーマ設定、本制作	
	9	テーマ別制作	ゼミ形式 立体を意識したテーマ設定、本制作	
	10	テーマ別制作	ゼミ形式 立体を意識したテーマ設定、本制作	
	11	テーマ別制作	ゼミ形式 立体を意識したテーマ設定、本制作	
	12	テーマ別制作	ゼミ形式 立体を意識したテーマ設定、本制作	
	13	テーマ別制作	個別に講評、修正	
	14	テーマ別制作	完成、発表	
	15	期末試験フィードバック		
	16	期末試験フィードバック		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	画材習得実習Ⅱ		指導担当者名	丸山 悦代	
実務経験	デザイン会社、デザイン制作業務に2年従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	イラストレーション科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	イラストレーションを制作する画材の特性と効果を体得し、目的に合わせた知識と技法を習得して幅広い表現を出来るようになる。模写・細密描写を通して画力向上をはかる。				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題、作品完成度 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	各資料、クロッキーブック、プロジェクトペーパー				
授業外学習の方法	使用する画材の準備				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	授業説明/水張り	授業内容紹介/水張りの仕方		
	2	色鉛筆(ウェット&ドライ)	色鉛筆使い方 模写		
	3	色鉛筆(ウェット&ドライ)	模写		
	4	色鉛筆(ウェット&ドライ)	模写 提出		
	5	マスキング技法の演習・アクリルガッシュ	マスキングテープ・マスキング液の説明(ガッシュ)・平面構成		
	6	パステル	パステルの使い方		
	7	パステル	風景制作		
	8	パステル	風景制作		
	9	パステル	風景制作 講評・提出		
	10	透明水彩	透明水彩の使い方 水張り		
	11	透明水彩	モチーフ制作		
	12	透明水彩	モチーフ制作 ●講評・提出		
	13	石膏	石膏どり、石膏の性質		
	14	石膏	石膏どり、ライフマスク		
	15	期末試験フィードバック			
	16	期末試験フィードバック			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	画材習得実習Ⅱ		指導担当者名	丸山 悦代	
実務経験	デザイン会社、デザイン制作業務に2年従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	イラストレーション科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	イラストレーションを制作する画材の特性と効果を体得し、目的に合わせた知識と技法を習得して幅広い表現を出来るようにする。模写・細密描写を通して画力向上をはかる。				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題、作品完成度 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	各資料、クロッキーブック、プロジェクトペーパー				
授業外学習の方法	使用する画材の準備				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	カラーインク	使用方法・静物画エスキース		
	2	カラーインク	モダンテクニック ドリッピング		
	3	カラーインク	夜空制作		
	4	カラーインク	にじみ、ぼかし		
	5	カラーインク	制作 合評		
	6	油彩	使い方・エスキース		
	7	油彩	下地塗り		
	8	油彩	マチエールの作り方		
	9	油彩	メディウムの種類		
	10	油彩	オイルの種類		
	11	油彩	グリザイユ技法		
	12	油彩	書き込み、ハッチング		
	13	油彩	制作 ●講評・提出		
	14	まとめ	レポート作成		
	15	期末試験フィードバック			
	16	期末試験フィードバック			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	デジタルソフト実習Ⅱ	指導担当者名	岡部 美保
実務経験	デザイン会社・広告代理店、デザイン制作業務に6年従事		実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間
学習到達目標	アプリケーションのアドバンススキル習得 * 前期では サーティファイ Illustratorクリエイター能力認定試験エキスパート 取得を目指す * 後期では サーティファイ photoshopクリエイター能力認定試験エキスパート 取得を目指す		
評価方法 評価基準	・期末試験 ・中間試験 ・検定合格結果(参考) 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する		
使用教材	MACPC Illustrator®クイックマスター CC (Win/Mac) 対応、Photoshop®クイックマスター-CC (Win/Mac) 対応		
授業外学習の方法	・テキストを使つての事前予習 ・テキストを使つての実技練習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	Illustrator検定実技対策(エキスパート)	クイックマスター 2部応用編 チャプター1 オブジェクトの描画 線 レイアウトの補助機能
	2	Illustrator検定実技対策(エキスパート)	クイックマスター チャプター2 スウォッチ、パターン、グラデーション、アピアランス
	3	Illustrator検定実技対策(エキスパート)	クイックマスター チャプター3 レイヤー応用 チャプター4 ハス上文字入力、文字種類、文字関連機能 チャプター5 ハスの編集
	4	Illustrator検定実技対策(エキスパート)	クイックマスター 第3部 コンテンツの制作編 チャプター1 制作
	5	Illustrator検定実技対策(エキスパート)	クイックマスター 第3部 コンテンツの制作編 チャプター2 制作
	6	Illustrator検定実技対策(エキスパート)	クイックマスター 第3部 チャプター3 WEB用に保存する、WEBパーツデザインをする
	7	Illustrator検定実技対策(エキスパート)	クイックマスター 第3部 チャプター4 グラフの基本操作、グラフのデザインをカスタマイズする
	8	Illustrator検定実技対策(エキスパート)	クイックマスター 第3部 チャプター4 グラフの基本操作、グラフのデザインをカスタマイズする
	9	Illustrator検定実技対策(エキスパート)	クイックマスター 第3部 チャプター5 DTPのための環境設定、名刺デザイン
	10	Illustrator検定実技対策(エキスパート)	クイックマスター 第3部 チャプター5 写真を配置したDM、見開きパンフレットのデザイン
	11	過去問題	一昨年の問題の実践と解説
	12	過去問題	昨年の問題の実践と解説
	13	期末試験	実際の試験同様の時間で知識と実技試験の実施
	14	前期振り返り	検定試験前の最終確認授業
	15	期末試験フィードバック	
	16	期末試験フィードバック	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	デジタルソフト実習Ⅱ		指導担当者名	岡部 美保	
実務経験	デザイン会社・広告代理店、デザイン制作業務に6年従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	イラストレーション科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	アプリケーションのアドバンススキル習得 * 前期では サーティファイ Illustratorクリエイター能力認定試験エキスパート 取得を目指す * 後期では サーティファイ photoshopクリエイター能力認定試験エキスパート 取得を目指す				
評価方法 評価基準	・期末試験 ・中間試験 ・検定合格結果(参考) 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	MACPC Illustrator®クイックマスター CC (Win/Mac) 対応、Photoshop®クイックマスター-CC (Win/Mac) 対応				
授業外学習の方法	・テキストを使つての事前予習 ・テキストを使つての実技練習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	Photoshop検定対策(エキスパート)	クイックマスター 第2部 コンテンツ制作編 チャプター1 色調補正ツールの基本ワザ、食べ物の写真を補正する		
	2	Photoshop検定対策(エキスパート)	クイックマスター チャプター1 曇天の裏路地を夕暮れに変える、ロゴデザイン		
	3	Photoshop検定対策(エキスパート)	クイックマスター チャプター2 ログデザイン、カスタムシェイプとカスタムスタイルで制作、煤けたナンバープレートの制作		
	4	Photoshop検定対策(エキスパート)	クイックマスター チャプター3 アクションで作るミニフォトカード、写真から作る立体ポップ、フィルターで作るブックカバー		
	5	Photoshop検定対策(エキスパート)	クイックマスター チャプター4 フォトコラージュ		
	6	Photoshop検定対策(エキスパート)	クイックマスター チャプター5 WEBサイトデザイン		
	7	Photoshop知識対策(エキスパート)	1年次からの振り返り、基本操作編1 P10~59		
	8	Photoshop知識対策(エキスパート)	一昨年前の過去問題の実施と解説		
	9	Photoshop知識対策(エキスパート)	昨年度の過去問題の実施と解説		
	10	Photoshop知識対策(エキスパート)	2年次習得用語振り返り、P182~246		
	11	過去問題	一昨年前の過去問題の実施と解説		
	12	過去問題	昨年度の過去問題の実施と解説		
	13	期末試験	実際の試験同様の時間で知識と実技試験の実施		
	14	前期振り返り	検定試験前の最終確認授業		
	15	期末試験フィードバック			
	16	期末試験フィードバック			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	色彩概論Ⅱ	指導担当者名	大阪 美智子
実務経験			実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 2年
授業方法	講義:○	演習:○	実習: 実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間
学習到達目標	色彩検定2級合格を目指す。		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する		
使用教材	色彩概論テキスト		
授業外学習の方法	授業の復習をしておく		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業趣旨説明、簡単な実習
	2	確認テスト生活と色	教科書、問題集身の回りの色の見え方
	3	確認テスト光と色	教科書、問題集光の性質と色、視覚系の構造と色
	4	確認テスト光と色	教科書、問題集照明
	5	確認テスト色の表示	教科書、問題集マンセル表色系の色票集、色の表示方法
	6	確認テスト色の表示	教科書、問題集JISの色名規格、系統色名、
	7	確認テスト色彩調和	教科書、問題集ナチュラルハーモニー、コンプレックスハーモニー、ドミナントカラー
	8	確認テスト色彩調和	教科書、問題集トーンオントーン、トーンイントーン配色、加マイユ配色、フォカマイユ配色
	9	確認テスト色彩調和	教科書、問題集ピコロール、トリコロール配色、ベースカラーによる色彩調和
	10	確認テスト配色イメージ	教科書、問題集色の三属性と配色イメージ、トーンと関係する配色イメージ
	11	確認テストビジュアルデザインと色彩	教科書、問題集ビジュアルデザインの領域、パッケージデザインと色彩
	12	確認テストビジュアルデザインと色彩	教科書、問題集Webデザインと色彩、ディスプレイデザイン
	13	確認テスト慣用語名	教科書、問題集JISの慣用語名説明
	14	まとめ	確認テスト、レポート作成
	15	期末試験フィードバック	
	16	期末試験フィードバック	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	色彩概論Ⅱ		指導担当者名	大阪 美智子
実務経験				実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 2年	
授業方法	講義:○	演習:○	実習:	実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間	
学習到達目標	色彩検定2級合格を目指す。			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する			
使用教材	色彩概論テキスト			
授業外学習の方法	授業の復習をしておく			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	確認テストファッション	教科書、問題集ファッションディレクターの役割、ファッションと配色、プリント柄の配色例、売り場における商品陳列と色彩	
	2	確認テストプロダクトデザインと色彩	教科書、問題集プロダクトデザインにおける色彩の役割	
	3	確認テストインテリアデザインと色彩	教科書、問題集インテリアと配色、インテリアの素材、インテリアの照明	
	4	確認テストエクステリア環境と色彩	教科書、問題集エクステリア環境色彩の考え方、住宅エクステリアの環境色彩	
	5	確認テスト慣用語名	教科書、問題集慣用語名	
	6	確認テスト過去問題	2016夏解答と解説	
	7	確認テスト過去問題	2016冬解答と解説	
	8	確認テスト過去問題	2017夏解答と解説	
	9	確認テスト過去問題	2017冬解答と解説	
	10	確認テスト過去問題	2018夏解答と解説	
	11	確認テスト過去問題	2018冬解答と解説	
	12	確認テスト過去問題	2019夏解答と解説	
	13	期末試験	模擬試験	
	14	レポート作成	まとめ	
	15	期末試験フィードバック		
	16	期末試験フィードバック		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	印刷・製本実習	指導担当者名	岡部 美保
実務経験	デザイン会社・広告代理店、デザイン制作業務に6年従事		実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	84時間	週時間数	3時間
学習到達目標	基礎的な描写力のいろいろな印刷物の特徴やイラストレーター・フォトショップ・インデザインでのデータの作成方法、レイアウトの基礎も含めて印刷までの工程を入稿用データ作品を完成させて学びます。 <input type="checkbox"/>		
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 課題作品出力提出やレイアウトデータを提出評価 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する		
使用教材	印刷の基礎テキスト Illustrator / photo shop / In Design		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	DTPについて	課題内容と作品課題サンプル参照/毎授業プロジェクター使用
	2	DTPでよく使うスキル復習	効率的なトレース方法と画像切り抜き
	3	広告物のデザインを観察する	各種印刷物/DTPデザインテキスト/ルーペで網点確認
	4	印刷物の制作工程	DTPデザインテキスト/DTPでよく使うアプリ操作復習
	5	DTPデザイン基礎	レイアウト基礎について資料参照/DTPデザインテキスト
	6	DTPデザイン基礎	レイアウト基礎について資料参照/DTPデザインテキスト
	7	Illustrator/Photoshop復習	DTPに必要な基礎内容ツール作成など各アプリで操作確認
	8	課題1/DTPデザイン基礎	スーパーのチラシデザイン作成/ファイル形式と管理について
	9	課題1/DTPデザイン基礎	スーパーのチラシデザイン作成出力/添削
	10	課題2/DTPデザイン	オリジナル名刺デザイン作成/添削/面付け出力断裁
	11	課題2/DTPデザイン	オリジナル名刺デザイン作成/面付け出力断裁
	12	並製本課題	フォーマット作成/表紙・裏表紙デザイン作成出力提出
	13	復習	復習、確認
	14	まとめ	
	15	期末試験フィードバック	
	16	期末試験フィードバック	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	印刷・製本実習		指導担当者名	岡部 美保	
実務経験	デザイン会社・広告代理店、デザイン制作業務に6年従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	イラストレーション科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	基礎的な描写力のいろいろな印刷物の特徴やイラストレーター・フォトショップ・インデザインでのデータの作成方法、レイアウトの基礎も含めて印刷までの工程を入稿用データ作品を完成させて学びます。 <input type="checkbox"/>				
評価方法 評価基準	・出席・授業態度 ・提出課題等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 課題作品出力提出やレイアウトデータを提出評価 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	印刷の基礎テキスト Illustrator / photo shop / In Design				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	課題3/DTPデザイン	並製本中面デザイン制作		
	2	課題3/DTPデザイン	並製本中面デザイン制作 / 添削 / 出力 / 断裁製本作成		
	3	課題3/DTPデザイン	並製本中面デザイン制作 / 添削 / 出力 / 断裁製本作成		
	4	課題制作3	並製本中面デザイン制作 / 添削 / 出力 / 断裁製本作成		
	5	DTPデザイン基礎 / In Design基礎	6ページ縦組レイアウトデータ作成		
	6	DTPデザイン基礎 / In Design基礎	6ページ縦組レイアウトデータ作成		
	7	テスト期間 / 印刷のしくみ	さまざまな印刷方式について / テストデータ提出		
	8	印刷・データ入稿まとめ	データ添削 / DTPデザインテキスト		
	9	DTPデザイン基礎まとめ	データ添削 / DTPデザインテキスト		
	10	テーマ別制作	ゼミ形式 個別のテーマに沿って制作		
	11	テーマ別制作	ゼミ形式 個別のテーマに沿って制作		
	12	テーマ別制作	ゼミ形式 個別のテーマに沿って制作		
	13	テーマ別制作	発表		
	14	まとめ	通年授業のまとめ		
	15	期末試験フィードバック			
	16	期末試験フィードバック			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	プロダクション実習		指導担当者名	ヤブキ
実務経験	フリーのイラストレーターとしてキャラクターデザイン、デザイン制作など10年以上従事			実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	84時間	週時間数	3時間	
学習到達目標	作品を売り込むための、ルート検索 また売り込み方法の学習			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する			
使用教材	各種画材			
授業外学習の方法	アートに触れる機会を多く持つ			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	オリエンテーション	オリエンテーション	
	2	ヴィジュアルマーケティングとは	ヴィジュアルマーケティング実習	
	3	ヴィジュアルマーケティングについて	ヴィジュアルマーケティング実習	
	4	ヴィジュアルマーケティングについて	ヴィジュアルマーケティング実習	
	5	ストックフォト とは	ストックフォト解説 スtockフォトのメリット マーケティング方法検索・発表	
	6	ストックフォト とは	ストックフォト解説 スtockフォトのメリット マーケティング方法検索・発表	
	7	Tシャツでのヴィジュアルマーケティング	Tシャツのデザインに採用時のメリット 受けやすいデザインとは? マーケティング方法検索・発表	
	8	プレゼン	プレゼン	
	9	LINEスタンプ	説明	
	10	LINEスタンプ	キャラクターとバリエーションの設定	
	11	LINEスタンプ	制作	
	12	LINEスタンプ	制作	
	13	LINEスタンプ	制作	
	14	LINEスタンプ	完成、発表	
	15	期末試験フィードバック		
	16	期末試験フィードバック		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	プロダクション実習	指導担当者名	ヤブキ
実務経験	フリーのイラストレーターとしてキャラクターデザイン、デザイン制作など10年以上従事		実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	84時間	週時間数	3時間
学習到達目標	作品を売り込むための、ルート検索 また売り込み方法の学習		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する		
使用教材	各種画材		
授業外学習の方法	アートに触れる機会を多く持つ		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	Tシャツでのヴィジュアルマーケティング	CDやレコードに写真が採用されるメ리트アートディレクターにマーケティングする場合の作品形態とはマーケティング方法検索・発表
	2	音楽を通してのヴィジュアルマーケティング	CDやレコードに写真が採用されるメ리트アートディレクターにマーケティングする場合の作品形態とはマーケティング方法検索・発表
	3	音楽を通してのヴィジュアルマーケティング	CDやレコードに写真が採用されるメ리트アートディレクターにマーケティングする場合の作品形態とはマーケティング方法検索・発表
	4	前期末課題説明	CDやレコードに写真が採用されるメ리트 アートディレクターにマーケティングする場合の作品形態とはマーケティング方法検索・発表
	5	課題制作1	テーマ別個人制作
	6	課題制作2	テーマ別個人制作
	7	課題提出・プレゼン	プレゼン資料作成、準備
	8	提出・プレゼン	発表、講評
	9	作品制作(コンペ出品)	課題:実際に授業中作品持参でにマーケティングをしてもらう(作品は過去のものでも可但し前期に学んだいづれから課題を選択)
	10	作品制作(コンペ出品)	課題:実際に授業中作品持参でにマーケティングをしてもらう(作品は過去のものでも可但し前期に学んだいづれから課題を選択)
	11	作品制作(コンペ出品)	課題:実際に授業中作品持参でにマーケティングをもらう(作品は過去のものでも可但し前期に学んだいづれから課題を選択)
	12	インスタ映えを考える	インスタ映えする写真撮影会
	13	チラシ、ポスター	制作
	14	チラシ、ポスター	発表
	15	期末試験フィードバック	
	16	期末試験フィードバック	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	クライアントワークⅡ	指導担当者名	丸山 悦代
実務経験			実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	84時間	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・産学連携、企業依頼課題、イベント参加準備 ・作品制作を通して自身の活動をアピールする準備をすることを目的とする 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・イベント参加、準備 ・提出課題、プレゼン内容 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する		
使用教材	PC、タブレット、プロジェクトペーパー		
授業外学習の方法	イベント、産学連携先のリサーチをしておく		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業説明
	2	産学連携準備	過年度産学連携実績の概要説明
	3	アート研究旅行	福島県立美術館伊藤若冲展鑑賞
	4	イベント企画、運営	新入生歓迎会の企画、運営
	5	イベント準備	水張りの手順と実践
	6	イベント	陶芸教室、大堀相馬焼体験 手びねりでコーヒーカップ制作
	7	イベント準備	F50キャンパスの張りかたレクチャー会
	8	職業実践	CCGA現代グラフィックアートセンター「仲條正義展」鑑賞
	9	イベント準備	セタディスプレイデザイン
	10	産学連携課題①	(株)ユニフォームネット依頼 クラウドファンディング会津型Tシャツデザイン デザイン案エスキース
	11	産学連携課題②	(株)ユニフォームネット依頼 クラウドファンディング会津型Tシャツデザイン データ制作
	12	産学連携課題③	(株)ユニフォームネット依頼 クラウドファンディング会津型Tシャツデザイン データ制作
	13	産学連携課題④	(株)ユニフォームネット依頼 クラウドファンディング会津型Tシャツデザイン プレゼン
	14	産学連携準備	イラストワークショップ練習会①
	15	期末試験フィードバック	
	16	期末試験フィードバック	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	クライアントワークⅡ	指導担当者名	丸山 悦代
実務経験			実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	イラストレーション科 2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	84時間	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・産学連携、企業依頼課題、イベント参加準備 ・作品制作を通して自身の活動をアピールする準備をすることを目的とする 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・イベント参加、準備 ・提出課題、プレゼン内容 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する		
使用教材	PC、タブレット、プロジェクトペーパー		
授業外学習の方法	イベント、産学連携先のリサーチをしておく		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	産学連携準備	イラストワークショップ練習会②
	2	産学連携準備	イラストワークショップ練習会③
	3	産学連携準備	三春アートクリエイター教室 概要説明、資料作成、準備
	4	産学連携準備	三春アートクリエイター教室 資料作成、準備
	5	産学連携準備	三春アートクリエイター教室 資料作成、準備
	6	産学連携準備	似顔絵レクチャー
	7	産学連携準備	似顔絵練習
	8	産学連携	ブランワークショップ準備
	9	産学連携	絵本制作ワークショップ準備
	10	産学連携	似顔絵ワークショップ準備
	11	産学連携	似顔絵ワークショップ準備
	12	産学連携	産学連携課題の制作とプレゼン
	13	産学連携	産学連携課題の説明と制作
	14	まとめ	レポート作成
	15	期末試験フィードバック	
	16	期末試験フィードバック	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	イラストレーション実習Ⅱ		指導担当者名	丸山 悦代	
実務経験	デザイン会社、デザイン制作業務に2年従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	イラストレーション科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	いろいろな印刷物の特徴やイラストレーター・フォトショップでのデータの作成方法、レイアウトの基礎も含めて印刷までの工程を入稿用データ作品を完成させて学びます。				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 課題作品出力提出やレイアウトデータを提出評価 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	印刷の基礎テキスト Illustrator / photo shop				
授業外学習の方法	授業準備として画材や用具の準備をしておく				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	マスキングやカラーインクを使用してイラスト四季を表現	カラーインクの使用法 / 説明と練習		
	2	マスキングやカラーインクを使用してイラスト四季を表現	マスキングテープ、マスキングシート、マスキング液の使い方		
	3	マスキングやカラーインクを使用してイラスト四季を表現	課題1カラーインクを使用したイラスト制作		
	4	アクションペインティング	グループ分け		
	5	アクションペインティング	足を使っのグループ制作		
	6	アクションペインティング	手を使っのグループ制作		
	7	展示、撮影	完成作品の展示		
	8	オリジナルデザイン	デコパージュの説明と実演		
	9	オリジナルデザイン	オリジナルティッシュボックスカバー制作		
	10	発表	発表、撮影		
	11	会津型の文様について	産学連携準備		
	12	会津型×グラフィックスユニフォームネット	会津型文様を用いたTシャツデザイン制作の説明、グループ分け		
	13	会津型×グラフィックスユニフォームネット	会津型文様を用いたTシャツデザイン制作、プレゼン資料作成		
	14	会津型×グラフィックスユニフォームネット	まとめ、発表		
	15	期末試験フィードバック			
	16	期末試験フィードバック			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	イラストレーション実習Ⅱ		指導担当者名	丸山 悦代	
実務経験	デザイン会社、デザイン制作業務に2年従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	イラストレーション科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	いろいろな印刷物の特徴やイラストレーター・フォトショップでのデータの作成方法、レイアウトの基礎も含めて印刷までの工程を入稿用データ作品を完成させて学びます。				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題 課題作品出力提出やレイアウトデータを提出評価 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	印刷の基礎テキスト Illustrator / photo shop				
授業外学習の方法	授業準備として画材や用具の準備をしておく				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	ハロウィン・ショーウインドウディスプレイ	役割分担、配置決めとディスプレイ用パーツ制作		
	2	ハロウィン・ショーウインドウディスプレイ	ディスプレイ用パーツ制作、展示準備		
	3	ハロウィン・ショーウインドウディスプレイ / 撮影	展示		
	4	ハロウィン・ショーウインドウディスプレイ / 撮影	発表、撮影、レポート作成		
	5	パッケージデザイン制作	クリスマス・お正月向けパッケージデザイン		
	6	パッケージデザイン制作	クリスマス・お正月向け完成提出		
	7	クリスマス・ショーウインドウディスプレイ	役割分担、配置決めとディスプレイ用パーツ制作		
	8	クリスマス・ショーウインドウディスプレイ / 役割分担	ディスプレイ用パーツ制作、展示準備		
	9	クリスマス・ショーウインドウディスプレイ / 役割分担	展示、発表、撮影、レポート作成		
	10	テーマ別制作	ゼミ形式で個別テーマでの制作エスキース、アイディアスケッチ		
	11	テーマ別制作	ゼミ形式で個別テーマでの制作カンブ		
	12	テーマ別制作	ゼミ形式で個別テーマでの制作本制作		
	13	テーマ別制作	ゼミ形式で個別テーマでの制作本制作、発表準備		
	14	プレゼン	発表、講評		
	15	期末試験フィードバック			
	16	期末試験フィードバック			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	空間演出デザイン		指導担当者名	丸山 悦代
実務経験	デザイン会社、デザイン制作業務に2年従事			実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	イラストレーション科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	28時間	週時間数	2時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な作品に触れ、鑑賞するだけでなく、制作背景についても自ら調べることにより、複数の視点から作品の素晴らしさを理解する。 ・グループディスカッションや、発表の機会を増やし、プレゼンテーション能力の向上を目指す。 			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・期末試験 ・提出課題、プレゼン内容 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する			
使用教材	PC、タブレット、プロジェクトペーパー			
授業外学習の方法	ディスプレイを研究しておく			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	作品鑑賞と解説	空間演出とは、作品鑑賞と解説	
	2	個人作業	課題①「床の間を空間演出する」エスキース	
	3	グループ制作、発表	課題①「床の間を空間演出する」撮影、発表	
	4	屋外の空間をデザインしよう1	課題②「屋外の空間をデザインしよう」ランドスケープ、空間演出デザインの説明、グループワーク、制作準備	
	5	屋外の空間をデザインしよう2	課題②「屋外の空間をデザインしよう」グループワーク、発表、撮影	
	6	空間を意識した作品制作	ゼミ形式で行うテーマ別制作課題の説明、個人制作 エスキース	
	7	空間を意識した作品制作	ゼミ形式で行うテーマ別制作個人制作 カンプ	
	8	空間を意識した作品制作	ゼミ形式で行うテーマ別制作本制作	
	9	空間を意識した作品制作	本制作	
	10	空間を意識した作品制作	ゼミ形式で行うテーマ別制作プレゼン資料作成	
	11	空間を意識した作品制作	ゼミ形式で行うテーマ別制作プレゼン資料制作	
	12	空間を意識した作品制作	発表準備、撮影	
	13	プレゼン	プレゼン、講評	
	14	まとめ	レポート作成	
	15	期末試験フィードバック		
	16	期末試験フィードバック		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	国際デザイン研究	指導担当者名	山田直美	
実務経験			実務経験:	
開講時期	後期	対象学科学年	イラストレーション科2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:	
時間数	48時間	週時間数	7日間/48時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・海外文化に触れ日本の文化と共にそれを尊重できる事、また、海外文化を楽しむ事が出来る事 ・学校で学んだ知識と技術を海外イベントに参加発信とアピールが出来る事 ・海外での業界事情を視察研修し、日本国内と比較してレポートにまとめる事 ・集団行動の徹底が出来る、また多くの国の人々が集まる場所で節度ある行動が出来る様になる事 			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・準備の徹底 ・集団行動の場面での時間管理が出来たか ・研修先で積極的に自ら行動が出来たか ・国際デザイン研究のまとめレポート提出と内容 			
使用教材	PC、筆記用具、カメラ、その他			
授業外学習の方法	事前準備(パスポート取得や旅行用品準備など)の徹底と、事後のレポート制作の為のまとめ			
学期	ターム (日)	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	出発~入国	成田空港利用、国際線でのマナー徹底 国外への出入国手続き、海外入国後ホテル宿泊	
	2	海外滞在1日目: イベント準備など	海外イベント参加に向けた出展準備 その後、自由行動と集団での国内研修	
	3	滞在2~4日目: A,B,C班に分かれて行動	A: イベント出展当番~国内集団研修~自由行動	
	4	*A~C班に分かれ	B: 国内集団研修~自由行動~イベント出展当番	
	5	3つの旅程をローテーションする	C: 自由行動~イベント出展当番~国内集団研修	
	6	滞在5日目(最終日)	全員でイベント出展の後片付け、その後集団での国内研修	
	7	帰国~到着	現地空港から成田に到着後、学校へ戻りその後解散 成田空港利用、国際線でのマナー徹底、日本帰国手続き	
	履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・国際デザイン研究に何らかの理由で不参加の場合には認定試験を受験することとする。 ・また、国際デザイン研究行程期間も学校へ登校し、それぞれ決められた課題の作成と提出を義務づける。 ・参加者については国際デザイン研究終了後、決められた期間までにレポートを提出する事 				

授業計画(シラバス)

科目名	卒業制作	指導担当者名	丸山悦代	
実務経験			実務経験:	
開講時期	後期	対象学科学年	イラストレーション科2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:	
時間数	180時間	週時間数	6週/180時間	
学習到達目標	・卒業生:2, 3年間の集大成として学んだことを発揮する			
評価方法 評価基準	・修了生:それぞれの学科の規定により定められた以上の分量、質で卒業生としての集大成となる作品制作をすること また、学科内で行われるプレゼンテーションにて完成品を発表し、卒業修了制作展で作品展示をすること 評価項目「作品の量」「作品の質」「完成度の高さ」「企画の質」「プレゼン能力」			
使用教材	それぞれの学科制作毎の規定に沿った画材、教材を使用する事			
授業外学習の方法	制作にあたり、事前の企画・計画をそれぞれ複数の先生方と行い、チェックをもらう事			
学期	ターム (週)	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	作品制作開始	事前に準備していた企画・計画に沿ってそれぞれ制作にあたる	
	2	作品制作2	個別添削を行いながら制作を進めていく	
	3	作品制作3	中間発表を行い、プレゼンテーション準備と展示企画についても 可視化していく	
	4	学科内プレゼンテーション	学科内でプレゼンテーションを実施 学科担任、学科非常勤講師、学科内学生全てでプレゼンテーションを聞く ・制作のポイント ・展示計画 ・プレゼン能力 ・資料の見やすさ など	
	5	発表を受けての修正と展示準備	各教室での展示計画と準備、 また、プレゼンテーションで受けた指摘の修正と追加制作	
	6	卒業・修了制作展	展示計画の基づき展示をし、外部の一般来場者を入れての作品発表を実施 ・学科内の作品の見どころの紹介 ・一般来場者の対応 *学科内シフトにより登校 展示終了後は撤収と作品保管をする	
	履修上の留意点 <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、プレゼンテーション機会を与えない ・プレゼンテーションにて不合格だった場合、修正し、翌週期限を設け再プレゼンテーションを実施 そこで一定の評価があれば合格とする ・再プレゼンテーションで不合格の場合認定となる 			